

令和2年度 公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高校現代社会 新訂版（実教出版）						
副教材等	フォーラム現代社会 2020（東京法令出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・社会のグローバル化、少子高齢化、情報化などが進む中で、現代社会をとらえる枠組みを身に付ける。
- ・現代社会について、倫理・社会・文化・政治・法・経済・国際社会などの角度から理解する。
- ・現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考える。
- ・現在起きている事象について日本だけでなく世界にも目を向け、新聞・ニュースなどに関心も持ち、今自分が何をなすべきか、何ができるのかを主体的に考えるよう普段から心がける。

2 学習の到達目標

- ・現代社会の基本的な問題について公正な判断ができるようにする。
- ・人間としての在り方生き方について考える力を身につけさせる。
- ・良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代社会と人間に関わる事項について関心を高め、意欲的に課題を追究する。社会的事象を総合的に考察する態度と、民主的で平和的な社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。	現代社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察する。社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	現代社会と人間に関わる事柄についての諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択・活用して学び方を身に付けられている。	現代社会と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けられている。
評 価 方 法	振り返りシート ワークシート レポート グループワーク 発表	定期考査 ワークシート 発表	定期考査 ワークシート	定期考査 レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価 方法
			a	b	c	d		
1 学 期	現代の国家と民主政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権保障の発展と現代社会</li> <li>・ 国民主権と民主政治の発展</li> </ul>	○	○	○	○	a: 人権思想と近代国家の発展の歴史に関心をもち、人権尊重の視点から、民主主義における人間の在り方について考察している。 b: 近代政治と人権保障の歩みを理解し、国民主権・権力分立などの原理と政治制度の多様性を見出している。 c: 近代民主政治の歩みと歴史的宣言文書を通じて、民主主義の原理の形成過程をとらえている。 d: 近代人権思想の歩みと近代民主主義国家の政治原理、現実の政治機構との関わりをとらえている。	定 期 考 査  ワ ー ク シ ー ト
	日本国憲法と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本国憲法の成立</li> <li>・ 平和主義と日本の安全</li> <li>・ 基本的人権の保障</li> <li>・ 人権のひろがり</li> <li>・ 人権保障と裁判所</li> <li>・ 政治機構と国民生活</li> <li>・ 地方自治</li> <li>・ 選挙と政党</li> <li>・ 政治参加と世論</li> </ul> <p>※「選挙と政党」「政治参加と世論」等と関連させて、政治的教養を育む授業を実施する。知識・理解に関する内容を扱う授業（1時間）、模擬投票やグループワークなど実践的な学習活動を含む授業（4時間）を行う。</p>	○ ○ ○		○  ○ ○ ○	○ ○ ○	a: 憲法の基本原理を理解し、日本の防衛問題や人権問題に関心をもち、政治の主体としての自覚をもつ。 b: 政党政治や選挙に着目し、政治のあり方や主権者としての政治参加について、価値観の多様化などの社会の変化を踏まえて公正に判断する。 c: 憲法の平和主義と日本の防衛問題との関連、憲法の人権規定と現実の人権問題との関わりをとらえている。 d: 国民の基本的人権と国家の基本的な制度的枠組みを定めた最高法規として憲法があることを理解する。	定 期 考 査  ワ ー ク シ ー ト  振 り 返 り シ ー ト  発 表・デ ィ ベ ー ト 等

2 学期	現代の経済社会と政府の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済社会の形成と変容</li> <li>・ 市場のしくみ</li> <li>・ 現代の企業</li> <li>・ 経済成長と景気変動</li> <li>・ 金融機関のはたらき</li> <li>・ 政府の役割と財政・租税</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a: 現代の市場経済の現状と特質に関心をもち、経済活動の主体として日本の金融・財政問題をとらえ、意欲的に追及する。</p> <p>b: 現代の市場経済と企業の特徴を理解し、日銀の金融政策と政府の経済政策の現状と課題を見出している。</p> <p>c: 公定歩合と株価や地価との関連、国債発行額および依存度の推移と財政危機との関わりを統計資料からとらえ、理解する。</p> <p>d: 技術革新と寡占・市場の失敗との関連や政府・日銀の財政金融政策とバブル経済や財政危機との関わりをとらえている。</p>	定期 考査  ワ ー ク シ ー ト
	経済活動のあり方と国民福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本経済の歩みと産業構造の変化</li> <li>・ 中小企業と農業</li> <li>・ 公害防止と環境保全</li> <li>・ 消費者問題</li> <li>・ 労働問題と雇用</li> <li>・ 社会保障</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a: 戦後日本経済の歩みと現状に関心をもち、環境・労働・社会保障などの諸問題を主体的にとらえている。</p> <p>b: 戦後の日本経済の歩みと現状を理解し、公害問題・消費者問題・労働問題・社会保障問題の現状と課題を見出している。</p> <p>c: 日本経済の歩みと国際経済との関わりを理解し、現代経済の問題の原因と解決の視点をとらえている。</p> <p>d: 戦後経済成長率の推移と景気・不景気との関連や国際化時代の日本経済の現状をとらえ、理解している。</p>	定期 考査  ワ ー ク シ ー ト

2 学 期	国際政治の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代の国際社会の成立とその変容</li> <li>・安全保障と国際連合</li> <li>・冷戦期の国際政治と現代の国際社会の課題</li> <li>・核兵器と軍縮</li> <li>・基本的人権と人種・民族問題</li> <li>・国際社会のなかの日本と日本の領土問題</li> </ul>	○		○	○	○	<p>a: 国際政治の動向に興味関心をもち、人権尊重の立場から、人種民族・軍縮問題の現状をとらえ、その諸要因を意欲的に追及する。</p> <p>b: 我が国の未解決の領土問題について、我が国が正当に主張している立場を踏まえ、我が国が平和的手段による解決を図っていることを判断する。</p> <p>c: 国際政治年表や国際紛争と地域安全保障の地図を活用し、国連に求められる役割と新しい秩序の理念について理解する。</p> <p>d: 戦後国際政治の動向と国際紛争との関わりを理解し、国際組織が紛争解決に果たす役割をとらえる。</p>	定 期 考 査  ワ ー ク シ ー ト
	国際経済の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済のしくみ</li> <li>・グローバル化と国際経済</li> <li>・地域経済統合と新興国の動向</li> <li>・発展途上国のゆくえ</li> </ul>	○ ○		○	○	○	<p>a: 持続可能な社会の形成という観点から、現代社会における課題について、自己の生き方や他者・社会との関わりに着目し意欲的に探究する。</p> <p>b: 現代社会の諸課題について多面的、多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。</p> <p>c: 課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、社会調査の方法を身に付ける。</p> <p>d: 現役世代が物的な豊かさを求めることが、将来世代に過度な負荷を与えることについて理解し、その知識を身に付けている。</p>	定 期 考 査  ワ ー ク シ ー ト  振 り 返 り シ ー ト

3 学 期	青 年 期 と 自 己 形 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青年期とは</li> <li>・ 青年期と自己</li> <li>・ 職業生活と社会参加</li> </ul>	○ ○	○ ○	○ ○	<p>a: 青年期にある自分のあり方・生き方に関心を持ち、社会と自分の関わりを主体的に考察する。</p> <p>b: 青年期の心理特質を理解し、職業や社会参加に向けて自己形成の課題を見出している。</p> <p>c: 青年期を考える作品を通じて、現代社会における青年期の特質と課題をとらえている。</p> <p>d: 青年期の自己形成の課題と社会が期待する人間像との関わりをとらえ、その歴史の変遷を理解している。</p>	定 期 考 査  レ ポ ー ト
	他 者 と と も に 生 き る 倫 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よく生きるために</li> <li>・ 民主社会を生きる倫理</li> <li>・ 私たちの倫理的な課題</li> <li>・ 日本の伝統思想と外来文化の受容</li> </ul>	○ ○	○ ○	○ ○	<p>a: 人生における哲学、宗教のもつ意義への関心を高め、人間の存在や価値に関わる課題を意欲的に探究し、人間としての在り方生き方について考える。</p> <p>b: 自己の生き方に関わる課題と人生における哲学、宗教のもつ意義をつなげて、人間の存在や価値に関わる課題を見いだしている。</p> <p>c: ギリシア思想、キリスト教、イスラム教、仏教、儒教などを代表とする先哲の思想、人生における哲学、宗教のもつ意義などに関する資料を様々なメディアを通して収集する。</p> <p>d: 自己の生き方に関わる課題が、多くの先哲によって探究された課題と通じていることに気付き、それが人間の存在や価値に関わる課題であることを理解する。</p>	定 期 考 査  レ ポ ー ト

3 学 期	地球環境を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題</li> <li>・地球環境問題への取り組み</li> <li>・資源・エネルギー問題</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:現代の環境問題に関心を持ち、温暖化やオゾン層の破壊などのしくみを理解し、今後の環境問題への取り組みについて主体的に考察しようとしている。</p> <p>b:現代社会における環境問題について、身近にある問題と関連づけて、課題を見出し、将来の地球環境への現代の責任を自覚している。</p> <p>c: 地球全体の環境問題の特質を数値資料や記録資料からとらえ環境対策の数値目標の意味を理解する。</p> <p>d: 環境問題の発生のメカニズムと人間の経済活動との関連をとらえている。</p>	定 期 考 査  レ ポ ー ト
	科学技術の発達と生命	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学の発展と生命倫理</li> <li>・先端医療</li> <li>・高度情報化社会の現状と問題点</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:臓器移植や遺伝子医療などに関心を持ち、生と死の意味を多様な立場から考察する意欲をもっている。</p> <p>b: 生命に関わる課題について、社会の変化や様々な立場や考え方を踏まえて公正に判断している。</p> <p>c: 高度医療が伝統的生死観で割り切れない問題をもたらしていることを理解し、多様な価値観を公平にとらえている。</p> <p>d: 臓器移植法の脳死判定基準に則り、伝統的な心臓死と脳死との違いを理解し、臓器移植の原理をとらえる。</p>	定 期 考 査  レ ポ ー ト  振 り 返 り シ ー ト

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度                      b:思考・判断・表現  
c:資料活用 of 技能    d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。